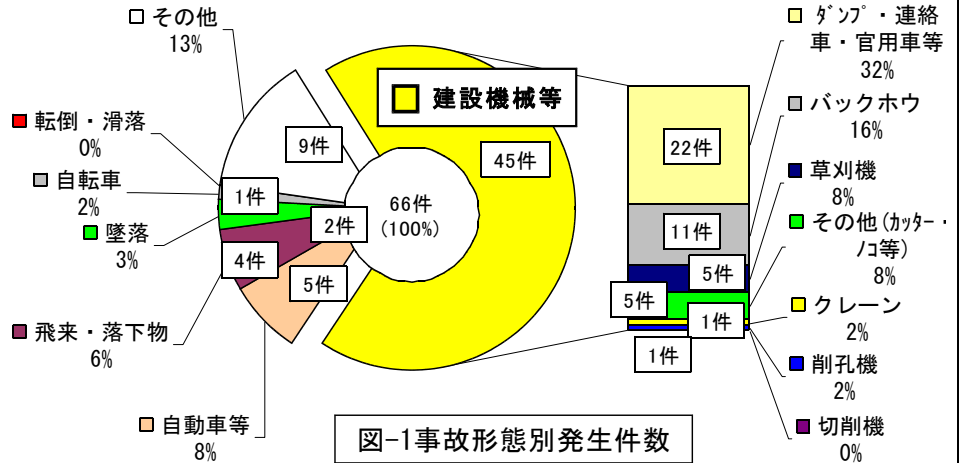


今年も建設機械等による事故が多い！

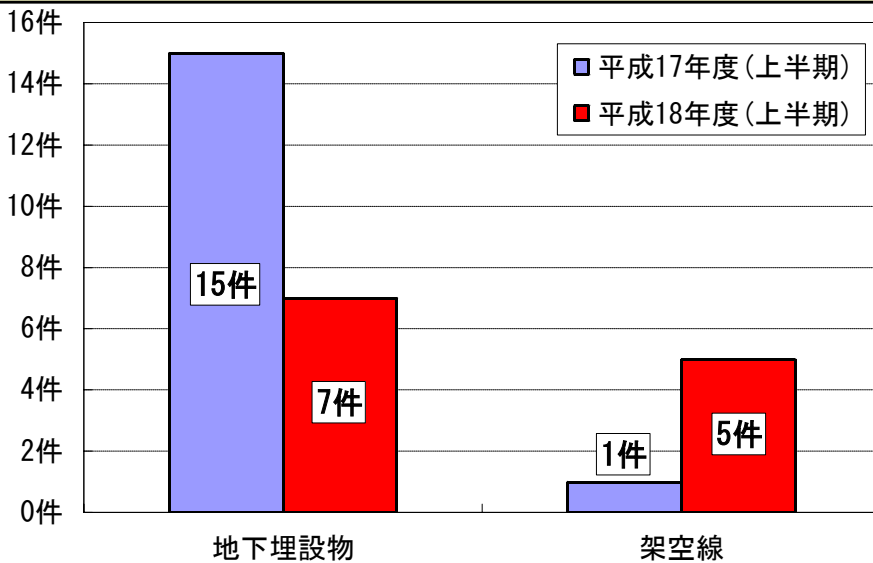
◆事故形態別発生件数(図-1)で見ると、今年も建設機械等による事故が45件(68%)と多く発生しています。

〔上半期の特徴〕

- ◆ダンプトラック・連絡車・官用車等が関係する事故が22件発生。
- ◆バックホウ及び草刈機が関係する事故も、多く発生。



地下埋設物、架空線に関わる事故も多い！



◆地下埋設物・架空線事故発生件数(図-2)で見ると、地下埋設物を損傷させる事故が大きく減少し、架空線を損傷させる事故が5件(前年度同時期は1件)と多く発生しています。

〔上半期の特徴〕

- ◆地下埋設物傷については、事前調査や現地立会を十分に行わず施工していたこと。
- ◆架空線損傷については、バックホウのアームを高く上げての移動や、ダンプの荷台を上げたまま走行していたこと。

〔防止対策(案)〕

- ◆必ず埋設管理者と事前協議及び現地立会を行い、埋設物の確認を行う。
- ◆KY活動による注意・指導だけでなく、上空に対する注意喚起看板の設置や垂れ幕等、目視確認が出来る対策を講じる。

〔事例〕

- ★9月26日、共同溝工事により情報管路を破損する事故が発生しました。これにより、NTTドコモとケーブルテレビが入っている管を損傷し、第三者にも被害を及ぼしています。
- ★埋設物管理者、並びに受注者・発注者との協議を実施し、指示すべき事項については、所定の手続きに従い適格に実施して下さい。

下半期も事故防止に努めよう!!

車両管理の事故が突出して多い!

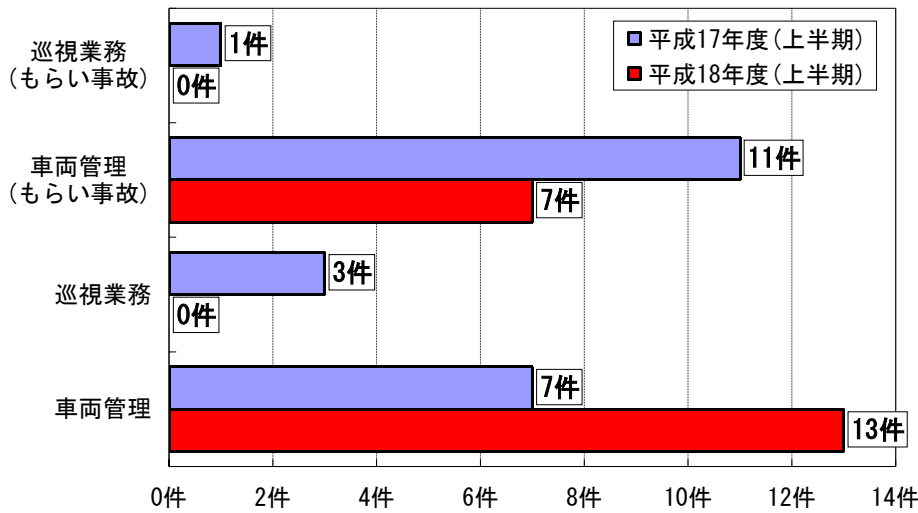


図-3車両運転等発生件数

◆車両運転等発生件数(図-3)で見ると、車両運転に関わる事故がもらい事故を含めて20件(前年度同時期は22件)発生しています。

[上半期の特徴]

- ◆官用車を運転する車両管理の事故が、突出して多く発生。
- ◆特に、左右・後方などの確認不足による事故が多い。



[防止対策(案)]

- ◆安全運転に関する教育や運転プロの意識を持つ指導等を徹底するとともに、社内での定期的な運転技術の確認を行う。

平成18年度 上半期(4月~9月) 事故発生件数は66件!

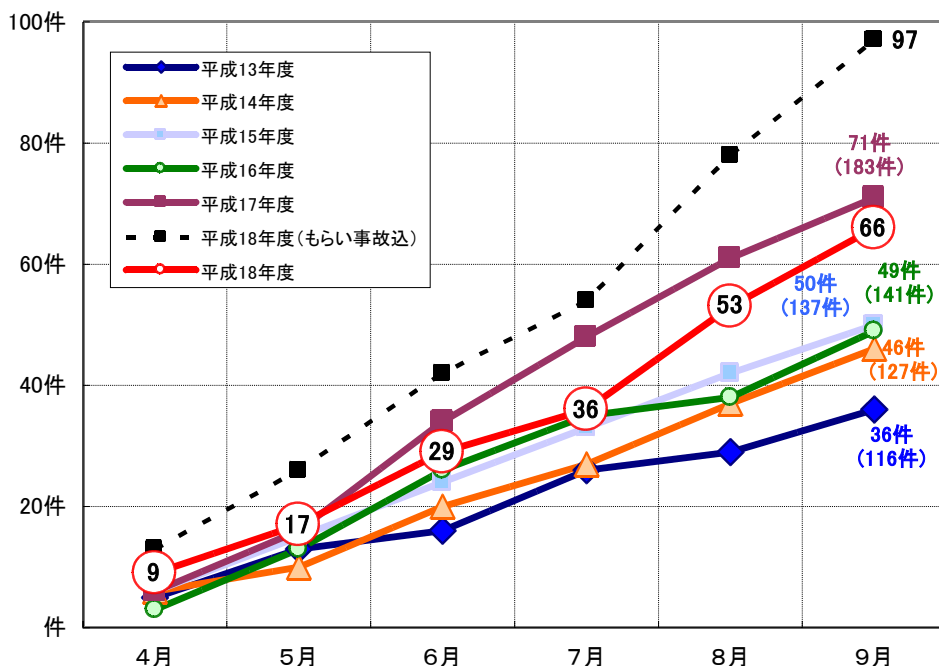


図-4月別発生事故件数(累計)

※()内の値は、年間全体件数

◆9月末現在、事故発生件数(図-4)は66件(速報値)で、もらい事故を併せると97件です。

◆近年、最も多かった昨年度の発生件数71件をやや下回っており、約0.9倍の発生件数となっています。

◆もらい事故は、9月末現在で31件で、昨年度の発生件数31件(9月末)と同件数になっています。

◆各事務所におかれましては、過去に発生した事故の教訓を生かし、小さなミスも疎かにせず、より一層の事故防止に努めて下さい。